

平成29年度教員免許状更新講習シラバス

講習の区分	【選択領域】受講者が任意に選択して受講する領域		
講習の名称	【選択】人権と共生の教育		
開設日	平成29年9月2日(土)	講習時間	6時間
主な受講対象者	全教員	受講人数	70人
講習の形態	対面授業(一部グループワークを含む)	会場	佐賀大学:理工学部6号館(DC棟)多目的セミナー室
担当講師	松下 一世、吉岡 剛彦		
講習のねらい・到達目標	人権が尊重される社会を築くために、人権に関する多面的な知識を共有し、学校のあり方や生徒との向き合い方、実践の質の向上を探究することができる。		
講習内容	人権と共生を大テーマに、オムニバス形式でします。小テーマは「性的少数者の人権」「在日外国人の人権」「部落問題の今日的課題」「インクルーシブ教育と人権教育」です。人権が尊重される社会を築くために、さまざまな角度から人権について探究していきます。		
評価方法・基準	成績評価は、午前部の部、午後部の部のそれぞれ最後に記述式の試験を実施します。講習への参加態度等から総合的に判断します。評価基準は、総合点で60点以上を合格とします。		
	認定試験に関して	資料の持ち込み (可)	
講習計画/講習内容			
開始時刻等	担当講師	内容	補足
I 9:00~10:30 (90分)	吉岡 剛彦	<性的少数者の人権> クラス内に約1人の割合でセクシュアル・マイノリティ(LGBTI)の子どもが居ると言われます。本講では、性分化疾患、性同一性障害、同性愛のくびとの生きがたさと、その背景にある社会状況や法制度について、欧米と比較しつつ確認した上で、多数派の通念に反省を加え、今後の方策を探ります。	映像資料活用
II 10:45~12:15 (90分)	吉岡 剛彦	<在日外国人の人権> 教室のなかの外国人生徒について考えます。前半では、オールドカマーの歴史と現状、とりわけ在日朝鮮・韓国人の国籍や地方参政権について。後半では、ニューカマー生徒が直面する種々の困難さと、それに対する具体的対応について考えます。	映像資料活用 後半に筆記試験を行う。
12:15~13:15	昼休み		
III 13:15~14:45 (90分)	松下 一世	<部落問題の今日的課題> 若者たちの葛藤や前向きな姿勢に学び、部落問題の今日的課題をとらえ直し、「昔のできごと」に終わらせない学びの在り方を考えていきます。	
IV 15:00~16:30 (90分)	松下 一世	<インクルーシブ教育と人権教育> 障害のある子どもだけでなく社会的に不利な立場の子どもの権利保障とエンパワメントをめざした人権教育の在り方について考察します。新しい人権学習の在り方を提起します。	後半に筆記試験を行う。
持参するもの			
予習について			
受講上の注意	H28年度の講習「【選択】人権と共生の教育」と内容が重複します。		